



みんなの人権・小地域懇談会 と同和問題職場研修会

「コロナ禍に考える感染症と人権」

【これまでの取り組みと今後】

今年度の「みんなの人権・小地域懇談会」は新型コロナウイルス感染症の世界的大流行を踏まえて、テーマを「コロナ禍に考える・感染症と人権」とし、7月を皮切りに昨年内に26自治会で開催いただきました。春までにあと3自治会が予定されています。「密」を避けるために事業所単位での開催をお願いしている「同和問題職場研修会」も幾つかの事業所が機会を設けてくださって、このテーマでお話しして来しました。

感染症が大流行する時には、病気の痛み、苦しみ、近い方が亡くなる悲しみとともに、必ず人権問題が現れます。なぜ差別や偏見



日南福祉会の職場人権研修会 (12/22)
利用者の方の感染予防に懸命に努めている皆さんです。

誹謗中傷が始まり、人間同士が突然傷つけあうのか？その原因や仕組みと、過去に流行した感染症が引き起こした人権を損なう事例の振り返りを、スライドに映しながら話しています。

一時期、ほんのりと収束感が漂いましたが、この原稿を書いている今、世界中・日本中で爆発的な感染拡大に至っています。ワクチンの開発が進んでいますが、まだ

まだ分からないことが多く、終息への道のりは遠いと捉えています。現在進行中の話題なので、関心を持って聴いていただけているようです。

感染者の急激な広がりを受けて1月7日、国による「緊急事態宣言」が再び発令されました。今回も基本的には国民への活動の「自粛要請」ですが、事態がより深刻になれば行動を制限する「命令」へと進まざるを得なくなるかもしれません。そうになると、国による個人の権利・私権の制限という、とても大きな人権上の議論も表面化してきます。もちろん感染の予防・拡大の抑制に努め、自他の生命を守ることが第一義ですが、コロナという禍（わざわい）は人権に係る問題をはらんでいるという視点も必要だと考えています。

【事業所や小グループに伺います】

1時間程度でお話しています。感染の危険がある「密」を避ける意味からも少人数で結構です。会合を控えられている中、積極的なお願いははばかられますが、もし関心をお持ちいただけたら、人権センターまでご連絡ください。

【次回予告】

第8回ふれあい人権講座

「世界の多様性を知ろう」

「モンゴルから来たノミンさん」

■日時 2月9日(火)

午後6時～7時30分

■会場 日南町人権センター

■講師 エレデネジャブ・ノミン・エレデネさん

(役場企画課 交流支援員)

☆モンゴル出身のノミンさんのお話や歌を聴いて、楽しく多様性(ダイバーシティ)を学びます。



モンゴルの伝統楽器
「馬頭琴」

2月の人権相談・行政相談

日時 2月12日(金)

午前9時～12時

会場 子育て支援センター

(道の駅にちなん向かい)

☆事前の予約は不要で秘密は固く守られますのでお気軽にお越しください。

